

Wish 【ウイッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

理事会より

報告 「労働者協同組合法」(ワーカーズ法) が成立しました!

全国のワーカーズ・コレクティブが取り組んできた法制化運動が形になり、2020年12月11日に「労働者協同組合法」が公布されました。WNJは2017年から、与党協同労働の法制化に関するワーキングチームと衆議院法制局、厚労省、内閣府が関わった実務者会議に参加し、日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会とともにヒアリングを重ね、法案成立に至りました。WNJとしては、全国のワーカーズ・コレクティブが目指してきた法制化の歴史的な幕開けととらえ、通称をワーカーズ法とし、2年後に施行されるまでに法の内容や組織変更、設立の手続きなどを周知していきます。

北海道の連絡協議会としても、法の成立前から学習会を重ねてきました。機関会議「地域会定例会議」では、構成メンバーであるワーカーズの代表が、資料を基に説明・読み合わせや質疑応答を通し、情報共有としました。2月に発行されたガイドブックを基に会員間でも学ぶ機会を設け、ワーカーズ・コレクティブ運動を拓いています。今後は、協同で事業を起こすことを目指す組織の連帯の中で、困難や課題の解決につながる地域社会づくりを進めます。

※ ワーカーズ・コレクティブの質や内容を高めるための情報収集と発信、社会的認知の拡大、また設立支援もしています。



『労働者協同組合法ガイドブック』

■労働者協同組合とは

組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織です。

■目的

多様な就労の機会の創出を促進、地域課題を解決するための事業、持続可能で活力ある地域社会づくり

■組合の基本原則その他の基準及び運営の原則

1. 労働者協同組合(以下「組合」)は、次に掲げる基本原理に従い事業が行われることを通じて、持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とするものでなければならないこと

- (1) 組合員が出資すること
- (2) その事業を行うにあたり、組合員の意見が適切に反映されること

- (3) 組合員が組合の行う事業に従事すること
- 2. 組合は1のほか、次に掲げる要件を備えなければならないこと
 - (1) 組合員が任意に加入し、又は脱退することができること
 - (2) 組合とその行う事業に従事する組合員との間で労働契約を締結すること
 - (3) 組合員の議決権及び選挙権は、出資口数にかかわらず、平等であること
 - (4) 組合との間で労働契約を締結する組合員が総組合員の議決権の過半数を保有すること
 - (5) 剰余金の配当は、組合員が組合の事業に従事した程度に応じ行うこと
- 3. 組合は営利を目的としてその事業を行ってはならないこと
- 4. 組合は特定の政党のために利用してはならないこと

起業カフェへどうぞ!

ワーカーズの事業や起業方法について知りたい方のために、カフェを開催しています。資料を見たり、質問・おしゃべりをしながら、ヒントやきっかけを見つけてください。開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応いたします。

予約不要



【日時】4/22・5/27・6/24

木曜日 14:00 ~ 16:00

【会場】北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

「ママをやめてもいいですか!？」上映会のお知らせ

子育ての本音を分かち合えるドキュメンタリー映画です。託児あり。

【日時】7月2日(午後)・3日(午前)

【会場】札幌コンベンションセンター

【主催】NPO 法人北海道子育て支援ワーカーズ / TEL 011-632-5180

ママやめ 検索

ワーカーズ・コレクティブ スタッフ募集!

札幌市とその近郊では、ワーカーズ34団体が活躍中で、随時会員を募集しています。興味がある方は下記の連絡協議会へ、お問い合わせください。

一緒に働きませんか?



■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4階 A号室

☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651

Email wco28@athena.ocn.ne.jp

http://hokkaido-workers.org

■発行責任 / 大熊 薫 編集責任 / 理事会 制作 / プランズEPO

■年4回発行 年間購読料 / 1000円

業種	団体数
食	7
福祉	10
子育て	11
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨&カフェ	1
編集・事務	1

1986年に設立。34団体約500名が加入しています。

心と体にやさしい食を 地域の方々に届けたい

interview 森浦久美子さん

食のワーカーズ なず菜

札幌市西区西野3条9丁目11-8

TEL 011-667-2133 <1999年設立・会員15名>

「なず菜」では、札幌市の高齢者配食指定業者としてお弁当を宅配しています。2019年から代表を務める森浦さんに、業務の内外的で感じる地域への思いについて話を聞きました。



もりうらくみこ 深川市出身。夫と長女(中1)・長男(小4)の4人家族。読書が好きで、『本の花束』を毎月楽しみにしている

初の子育て世代メンバーとして

夫の転勤で神奈川県横浜市に住んでいた頃、「1年でバケツ一杯分もの有害な添加物を体に取り込んでいる」という生活クラブ生協のチラシを見て衝撃を受け、すぐに加入しました。その後、里帰り出産中に東日本大震災があり、家族で北海道に戻ることを決めました。

「なず菜」には、生活クラブ西支部大会で当時の代表が生き生きとアピールする姿を目にして、素敵な職場だなと興味を持ちました。その頃はまだ、子育て世代のメンバーがいなかったのですが、初の試みとして快く入れていただく事ができました。



なず菜で一緒に働きませんか?

など思える人がなるのがいい」という、作家の坂本勤さんの言葉を姉が教えてくれ、背中を押してくれました。

なず菜には本当に個性豊かな人たちが集まっていて、数字に強い人、お料理上手な人、車を大切に管理できる人、いつも笑顔で頑張ってくれる人…。各々良いところを役割として、お互いの仕事を尊重しながら、リーダーシップのないリーダーのもとで力を合わせてくれていると感じています。

お弁当の注文数が増え、とても忙しい毎日ですが、仕事の充実と共に、皆が自分の時間も大切にしながら、楽しく働けるようにしたいといつも考えています。

食を通じて、共に生きる

利用いただいている方の、体調の変化を感じ取り、細やかに応じるなど、高齢者配食という仕事の中で、命をつなぐ食事をお届けしているという実感があります。

遺伝子組み換えやゲノム編集、添加物など、食に関わる不安要素はいくつもありますが、そんな中でも、きちんと作られた材料を用い、合成洗剤や添加物に頼らず、一つひとつのおいしさを手作りしていくことが、小さくとも確かな歩みになると信じています。

自分たちの食べたいもの、食事としての、心と体にやさしいお弁当を、この地域にお住まいの大切な人にお届けするという気持ちで、日々頑張っています。

【取材 / 泉・亀川】

自分らしく やりがいを持って楽しく!

代表交代のお話をいただいた時は、まとめる力も得意な事もない自分には、到底無理だと思っていました。そんな時「リーダーって、何でもできる人よりも、どうやったらいいかわからないけれど、皆で仲良くやれたらいい